

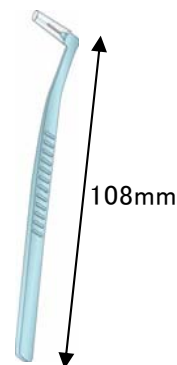
### 3. 商品特長

#### デンターシステム歯間用デンタルブラシ

① 奥歯の歯間部へも挿入がスムーズな、L字型歯間ブラシ（下図）

② ブラシ部分は耐久性に優れた当社独自の設計を採用（下図）

折れにくく、曲がりにくい超高強度ワイヤーと、ワイヤー強度を高める先細ノズルの採用により耐久性に優れています。



③ 口腔内で操作しやすいコンパクトヘッド

④ しっかり握れるロングハンドル（右図）

ロングハンドル（108 mm）なので届きにくい奥歯の歯間もしっかりケアできます。

⑤ 歯間サイズと口腔状態に合わせた4サイズの品揃え

サイズ	適用部位	最小通過径
SSS （超極細タイプ）	前歯部など歯間が特にせまい部位	～0.8mm
SS （極細タイプ）	前歯部や歯周病多発部位である臼歯部など	0.8～1.0mm
S （細めタイプ）	軽度の歯肉退縮や歯列不正部位	1.0～1.2mm
M （普通タイプ）	歯肉退縮などで歯間がやや広い部位やブリッジ装置等の周辺	1.2～1.5mm

#### デンターシステム薬用歯間ジェル（医薬部外品）

① 殺菌成分「IPMP」・「CPC」、抗炎症成分「グリチルレチン酸」の3つの薬用成分が歯周病の発症部位に長くとどまり歯周病を予防する

＜1＞殺菌成分「IPMP（イソプロピルメチルフェノール）」が、“歯周ポケット”の奥にひそむ「歯周病菌の巣（バイオフィルム）」の内部まで浸透して徹底殺菌

「歯周病菌の巣」は、薬剤などが非常に浸透しにくいという性質をもっています。この強固な「歯周病菌の巣」の内部まで浸透して殺菌することができる成分「IPMP」を配合。“歯周ポケット”の奥にひそむ「歯周病菌の巣」の内部までしっかり殺菌します。＜参考資料参照＞

【歯周病菌の巣（バイオフィルム）】  
歯周病の原因で、歯と歯ぐきの狭いスキ間“歯周ポケット”で増殖する細菌のかたまり（集合体）。強固な表面で覆われており、通常殺菌成分は中まで届きにくい。細菌が増殖しながら毒素を放出し、歯ぐきの炎症を引き起こす。

<2>殺菌成分「CPC（塩化セチルピリジニウム）」が菌の増殖を抑える

<3>抗炎症成分「グリチルレチン酸」が、歯グキの炎症を抑える

② 唾液中のカルシウムイオンと反応して粘度が上がるジェル

ジェルに配合した「アルギン酸ナトリウム\*<sup>1</sup>」が、唾液中のカルシウムイオンと反応し、口腔内でジェルの粘度がアップするので、薬用成分が歯と歯グキのスキ間に長くとどまります。

\*1：「アルギン酸ナトリウム」は昆布などで代表される褐藻類に含まれる成分で、カルシウムイオンと反応すると粘度が上がりゼリー状に変化（ゲル化）することが知られています。

③ 歯グキに心地よい清涼感が長続きする「クールミント」の香味

④ 研磨剤は無配合